

1 令和6年度実施報告

施策		取組名	令和6年度	
基本 施策	(1) 地域におけるネット ワークの強化	ア 地域におけるネットワークの強化	(ア) 府中市自殺対策推進会議の開催 1回実施。	
			(イ) 府中市自殺対策関係者連絡会の開催 1回実施。	
			(ウ) 府中市自殺対策関係者事例検討会の開催 0回。	
			(エ) 保健活動の強化 精神保健福祉関係機関連絡会・精神保健福祉事例検討会に10回参加。	
		イ 特定の問題に関するネットワークの強化	各施策の中で推進。	
	(2) 自殺対策を支える人材 の育成	ア 様々な職種を対象とする研修の実施	(ア) ゲートキーパー養成講座（市職員対象）	12月12日(木)に実施し、市職員53人が参加した。
			(イ) ゲートキーパー養成講座（教職員対象）	6月11日(火)に実施した。「児童生徒の『死にたい』にどう気付き、対応するか」をテーマとし、71人参加した。
			(ウ) ゲートキーパー養成講座（専門職対象）	未実施。
		イ 市民を対象とする研修の実施	(ア) ゲートキーパー養成講座（市民対象）	8月に元気いっぱいサポーターリーダー養成講座の中でゲートキーパー研修を実施した。参加者21人。
			(イ) ふちゅうカレッジ出前講座	0回（要請なし）。
	(3) 市民への啓発と周知	ア 様々な機会や媒体を活用した啓発の 推進	◎自殺対策強化月間	市民活動センター、男女共同参画センター、図書館、文化センター、保健センター等で実施。特設ブースの設置も行った。 年末年始に市内各駅及び大國魂神社にてリーフレット等を配布した。
			(ア) リーフレット等啓発品の作成と配布等による周知	9月と3月の月間に合わせ、「こころといのちの相談・支援窓口一覧」等配布し、情報提供に努めた。 市立中学校に入学した新1年生全員に対し、生徒手帳サイズの相談先リーフレットを作成し配布した。
(イ) 市民向け講演会やイベント等の開催			9月、3月の自殺対策強化月間に合わせ、年2回中央図書館で特集展示を実施し、悩みを持つ人に向けて資料を紹介した。	
(ウ) 各種メディアなどの媒体を活用した啓発活動			引き続き、ホームページの充実やSNSでの情報発信を図った。	

(エ) 地域と連携した情報の発信

6月11日(火)に教職員向けゲートキーパー研修を実施し、教職員及び関係機関職員が71人参加した。
年末年始に大國魂神社の境内や各文化センターにてリーフレット等を配布した。

(4) 自殺未遂者等への支援の充実	ア 府中市自殺対策関係機関連絡会の開催		12月16日(月)に1回実施。自殺未遂者・ハイリスク者の支援について、検討及び進行管理を行った。
	イ 自殺対策事例検討会の開催		—
	ウ 精神保健(メンタルヘルス)に関する課題を抱えている人への相談支援		・北多摩南部保健医療圏自殺対策担当者連絡会に参加(10月)。 ・自殺総合対策にかかる区市町村連絡会(2月)。
	エ 医療機関や警察・救急との連携促進		・事例を通して連携した。 ・自殺対策推進会議にて消防と連携し情報共有に努めた。
(5) 自死遺族等への支援の充実	ア 自死遺族等への情報周知		自死遺族等に、死後の法的な手続や行政上の手続、こころの相談を記載した「おくやみハンドブック」、市役所への書類作成や提出をまとめて行うことができる「おくやみ相談室」を案内した。
	イ 自殺遺族等支援グループへの支援		自死遺族の会「雨宿り」リーフレットを配架し、自殺対策強化月間ホームページで情報掲載した。
(6) 児童・生徒のSOSの出し方に関する教育	ア SOSの出し方に関する教育の充実に向けた取組の推進		・教育課程に全学年で「SOSの出し方に関する教育」の実施することを位置付け、確実に実施した。 ・府中市立浅間中学校、府中市立府中第三中学校、 府中市立府中第七小学校 では「SOSの出し方に関する教育」を健康推進課保健師および、読み聞かせボランティアにより実施した。授業後、教職員と心配な生徒の共有と、今後のSOS教育の内容について意見交換を行った。
	イ 児童・生徒が発するSOSに関する支援体制づくり		生活指導主任会やいじめ問題対策委員会、不登校対応プロジェクトチーム等様々な連絡協議会を立ち上げ、関係諸機関との連携の強化に努めることかできた。

重点 施策	(1) 子ども・若者の自殺対策の推進	ア 子どもに向けた支援の推進	(ア) 市立小中学校の教職員や関係機関職員に向けた研修会の実施	6月11日(火)に教職員向けゲートキーパー研修を実施し、教職員及び関係機関職員が71人参加した。
		イ 若者に向けた支援の推進	(ア) 市内大学等の健康管理室等との連携	東京農工大学にて、チラシ及び啓発グッズの配布。
			(オ) 市ホームページやSNS等を利用して相談先について情報提供する	広報、市ホームページ、メール配信サービス、LINE、X、デジタルサイネージで周知を行った。
	(2) 勤務・経営問題に関わる自殺対策の推進	ア 勤務問題による自殺リスクの低減に向けた取組の推進	(ア) 商工会議所の会員や府中市勤労者福祉振興公社等への相談先リーフレットの配架	啓発グッズである心のSOSに関するポケットティッシュ、蛍光ペンを配布し啓発に努めた。会員紙にこころの健康に関するコラムを掲載した。
			(イ) 自殺対策と職域におけるメンタルヘルス対策の連携推進	—
			(ウ) 小規模事務所の労働者向けに地域産業保健センター等の相談先を市のホームページで情報提供	随時情報の更新を行うとともに、9月と3月の月間時に特設ページを作成・公開した。
			(エ) 特定健康診査の機会を活用した相談先リーフレットの配架	特定・成人・若年層健診の受診後リーフレットへこころの健康に関する情報を掲載した。
			(オ) 市のホームページで働く人のメンタルヘルスや勤労問題に関連する相談窓口の紹介	随時情報の更新を行うとともに、9月と3月の月間時に特設ページを作成・公開した。
	(3) 生活困窮者・無職失業者に関わる自殺対策の推進	イ 支援につながっていない人を早期に支援へとつなぐための取組の推進	(ア) ゲートキーパー養成講座(税金等相談業務を担当する職員)	12月12日(木)に1回実施し、53人参加。
			(イ) 民生委員へのリーフレット配布	ゲートキーパー研修の案内したが、参加者がなかった。
			(ウ) 公営住宅の管理を担当する公社との連携、リーフレット配架	自殺対策推進会議にて共有した。
		ウ 多分野の関係機関が連携・協働する基盤の整備	(ア) 「つながりPlus」を通じた関係機関の課題共有・連携	重層的支援体制整備の会議に向けた事前説明会を実施した。
			(イ) 自殺対策の失業者に向けたハローワーク府中でこころの相談窓口等の相談先周知	自殺対策推進会議を実施し連携を図った。
		エ 失業者等に対する相談窓口等の充実	(ア) 生活困窮者や失業者に向けたハローワーク府中でこころの相談窓口等の相談先周知	9月と3月の月間時にハローワーク府中へ相談先一覧等のチラシ配架を依頼した。
(イ) 就労支援コーナーふちゅうや就労支援事業委託等事業での就労支援	「就労支援コーナーふちゅう」や就労支援事業委託において、面談を継続し、個人にあった就労につなげた。			

2 令和7年度計画

※赤字は拡大予定の内容

施策		取組	令和7年度計画	
基本 施策	(1) 地域における ネットワークの 強化	ア 地域におけるネットワークの強化	(ア) 府中市自殺対策推進会議の開催 1回実施予定。	
			(イ) 府中市自殺対策関係機関連絡会の開催 1回実施予定。	
			(ウ) 府中市自殺対策事例検討会の開催 随時実施。	
			(エ) 保健師活動の強化 相談対応や会議研修等を通して資質向上を図る。	
		イ 特定の問題に関するネットワークの強化	(ア)～(カ) 各施策の中で推進。	
	(2) 自殺対策を支え る人材の育成	ア 様々な職種を対象とする研修の実施	(ア) ゲートキーパー養成講座（市職員対象）	年1回実施予定。対策の重要な担い手となる人材を幅広く育成し、支援の充実を図る。
			(イ) ゲートキーパー養成講座（教職員対象）	6月10日（火）に実施予定。 教員が児童生徒に対し、自殺者が増える長期休業の前に適切に指導できるよう、今まで受講したことのない教職員にも対象を広げ、自殺予防研修を実施する。
			(ウ) ゲートキーパー養成講座（専門職対象）	令和8年度の実施に向けて関係課と検討する予定。
		イ 市民を対象とする研修の実施	(ア) ゲートキーパー養成講座（市民対象）	6月26日（木）サポーターリーダー養成講座にて実施する予定。
			(イ) ふちゅうカレッジ出前講座	依頼があれば随時対応する。
(3) 市民への啓発と 周知	ア 様々な機会や媒体を活用した啓発の推進	◎自殺対策強化月間	市民活動センター、男女共同参画センター、図書館、文化センター、保健センター等で実施予定。特設ブースの設置も行う。	
		(ア) リーフレット等啓発品の作成と配布等による周知	6月に中学1年生へ相談先リーフレットを配布予定。市内大学等でのリーフレット配架を検討する。市民活動センターでリーフレットや相談カード等を配布し、広く市民への相談先に関する情報提供に努める。	
		(イ) 市民向けの講演会やイベント等の開催	イベントの開催時に周知・啓発を行う。	
		(ウ) 各種メディアなどの媒体を活用した啓発活動	引き続き、ホームページの充実やSNSでの情報発信を図る。	
		(エ) 地域と連携した情報の発信	指導室等と連携し、情報を随時発信する。年末年始に大國魂神社及び市内各駅にてリーフレットを配架する。	
(4) 自殺未遂者等へ の支援の充実	ア 府中市自殺対策関係機関連絡会の開催		1回実施予定。	
	イ 府中市自殺対策事例検討会の開催		適時実施。	
	ウ 精神保健（メンタルヘルス）に関する課題を抱えている人への相談支援		相談体制の整備、関係機関との連携を推進する。	

エ 医療機関や警察・救急との連携促進

個別事例や会議、相談先の情報周知等を通して連携を促進させる。

基本 施策	(5) 自死遺族等への 支援の充実	ア 自死遺族等へ情報周知		自死遺族等に、死後の法的な手続や行政上の手続をまとめた「おくやみハンドブック」、市役所への書類作成や提出をまとめて行うことができる「おくやみ相談室」を案内する。 市ホームページ等で、各種相談先について紹介し、自死遺族等への情報周知を進めるとともに、経済的な課題を抱えた遺族に対して、必要な生活支援につながるができるように地域の相談窓口を紹介し、他の専門機関と連携して支援を行う。
		イ 自死遺族等支援グループへの支援		自死遺族の会と連携し、「雨宿り」リーフレットを配架する。 自殺対策強化月間にホームページで情報掲載する。
	(6) 児童・生徒の SOSの出し方 に関する教育	ア SOSの出し方に関する教育の充実に向けた取組の推進		教育課程に全学年で「SOSの出し方に関する教育」の実施することを位置付け、確実な実施を図る。
重点 施策	(1) 子ども・若者の 自殺対策の推進	ア 子どもに向けた支援の推進	(ア) 市立小中学校の教職員や関係機関職員に向けた研修会の実施	6月10日(火)に教職員対象研修会を実施予定。
			(イ)～(ケ)	各施策の中で推進。
	イ 若者に向けた支援の推進	(ア) 市内大学等の健康管理室等との連携	市内大学等の教育機関との連携を図る。	
		(イ)～(エ)	各施策の中で推進。	
		(オ) 市ホームページやSNS等を利用して相談先について情報提供する	ホームページの見直し、SNS等を活用する。	
	(2) 勤務・経営問題 に関わる自殺対 策の推進	ア 勤務問題による自殺リスクの低減に向けた取組の推進	(ア) 商工会議所の会員や府中市勤労者福祉振興公社等への相談先リーフレットの配架	商工会議所の会員、ハローワークを利用する方へ心の健康に関するリーフレットを配布する。
(イ) 市内企業との連絡会にてメンタルヘルス対策を啓発する			連絡会の開催時に啓発する。	
(ウ) 小規模事業所の労働者向けに地域産業保健センター等の相談先を市のホームページで情報提供			市のホームページの充実を図る。	
(エ) 特定健康診査受診の機会を活用した相談先リーフレットの配架			特定健康診査受診者に結果を返す際に渡すリーフレットにこころの相談窓口を記載して周知する。	
(オ) 市のホームページで働く人のメンタルヘルスや勤務問題に関連する相談窓口の紹介		市のホームページの充実を図る。		
イ 経営問題に関する取組の推進	(ア)～(イ)	各施策の中で推進。		

(3) 生活困窮者・無職失業者に関わる自殺対策の推進	ア 生活困窮に陥った人に対する「生きることの包括的な支援」の強化	(ア)～(ケ)	各施策の中で推進。
	イ 支援につながっていない人を早期に支援へとつなぐための取組の推進	(ア) ゲートキーパー研修(税金等相談業務を担当する職員)	市職員ゲートキーパー養成研修によって実施。
		(イ) 民生委員へのリーフレット配布	研修会等を案内し、民生委員へリーフレットを配布、情報共有する。
	ウ 多分野の関係機関が連携・協働する基盤の整備	(ウ) 公営住宅の管理を担当する公社との連携、リーフレット配架	公営住宅の管理を担当する公社との連携内容を検討する。
		(ア) 「つながりPlus」を通じた関係機関の課題共有・連携	各施策の中で推進。
	エ 失業者等に対する相談窓口等の充実	(イ) 自殺対策の会議等の機会を通して社会福祉協議会・民生委員との連携	個別事例の対応及び会議を通して連携する。
		(ア) 生活困窮者や失業者に向けたハローワーク府中でこの相談窓口等の相談先周知	ハローワーク府中でリーフレットの配架を依頼する。
オ 経済問題以外の諸問題を抱えた人の孤立の防止	(イ) 就労支援コーナーふちゅうや就労支援事業委託等事業での就労支援	各施策の中で推進。	
(4) 女性の自殺対策の推進	ア 妊娠期から子育て期までの女性への支援	(ア)～(オ)	各施策の中で推進。
	イ 就労する女性への支援	ひとり親家庭の経済的自立に向けたセミナーの開催や資格取得支援	各施策の中で推進。
	ウ コロナ禍で顕在化した課題に対する支援	(ア)～(イ)	各施策の中で推進。